

校報

國學院大學
栃木中学高等学校
〒328-8588
栃本市平井町608
☎(0282) 225511
校報編集委員会

〈7月の行事予定〉

- 1日 美化の日(高)
2日～4日 期末試験(高3・中)
2日～5日 期末試験(高1・2年)
6日 美化の日 奉仕作業(中)
9日 1・2年進研
総合学力テスト
3年進研記述模試
13日 サイエンスセミナー(中)
18日～20日 三者面談(中・高)
18日 成績判定会議(中・高)
19日 終業式(中・高)
壮行式
國大、國橋短大説明会(高)
22日～26日 前期夏期講習(中3・高)
22日・23日 2年職場体験(中)
24日～26日 前期夏期講習(中1・2)
27日 中学総合学力調査(中)
Come in 國學院(第1回)
29日～31日 サマーセッション
29日～8月2日 サマースクール(高)
29日～8月1日 サマースクール(中)

自然体験学習から学ぶもの

中学校教頭 菊地俊一



自然体験学習について

中学校では創立当初から、自然体験学習を毎年5月半ばに、1年生は赤城、2年生は那須甲子、3年生は日光、尾瀬方面に2泊3日で実施している。

3学年ともに標高差700mの山を登破することが共通の目標で、学年を追うに従って高い山に挑戦するようにプログラムしている。

当然出かける前には下見は欠かせない。中学生が体験するものだから、天候の面なども考慮して、危険がないようにルートを丹念にたどり調査、確認してくる。

今年も本校の中学校の教員を中心に下見に出かけた

が、2学年の那須甲子では残雪が多く、7合目まではいけなかったため、山頂までのルートを変更。沢歩きのコースに変更。当日中学生たちにそのコースを歩いてもらった。以前は迂回していたルートで、初めてのこともであり、新鮮さもあつたが、前回とはひと味違ったものになった。

目印や標識を頼りに岩や倒木の上を危なげに歩いて進むのだが、今回はなんと半数の生徒がすべって川に落ちてしまった。そのため手を差し出したり、体を支え合うなど、お互いの協力が欠かせないものとなった。

意外だったのが、彼らが仲間たちと力を合わせ障害を乗り越えていく、そうした大変さを、いつも以上に楽しんで受け止めている印象を受けたことである。

教室の中ではクラスメイトと交流することが苦手な



沢歩きを体験(中学2年生)

生徒もいるが、そうした者も嬉々として、協力し合い楽しんでいった。思わぬところで発揮された生徒たちの自主的に互いに助け合う姿に、山歩きの疲れも少し癒やされた気がする。

自然との触れあい

自然体験学習で得られるものは、「自然に触れる喜び」とともに、「自然と闘う強さ」であると思う。前者は、自分の身の回りにある陳腐なものではなく、見たことのない風景や植物の姿に触

れて、自らの視野を広げ心を豊かにするところにある。そして「闘い」。自然環境というものは多くは自分の意のままにならないものだ。最近では自然災害の脅威が取りざたされるようになったが、日常の生活の中で文明生活の恩恵を受け、現代人はそうした自然の恐ろしさをともすれば忘れてしまっている。この自然体験学習で必要になるのは、そうした「自然」環境と対峙したときに発揮される、忍耐力や我慢といった生き抜く上で必要な人間の強さだと思ふ。

先ほどの沢歩きではないが、3年生などもまだ多く残っている雪の上をひたすら歩く。当然学校行事だから、配慮の上にも配慮を重ねて、安全第一で行くのだが、それでも最後はへとへとになり、やつとの思いで宿にたどり着く、という生徒も多い。

そしてこの研修の最大の収穫となるのは、すべてのルートを歩き通し、目標に

たどり着いた際に生まれる、やりきった後に生まれる充実感と喜びである。わずか3日間では人間は変わるものではない。しかし、そうした体験は、自分の生活や内面の甘さを見つめ直し、さらに仲間との協調性を認め合うきっかけになるのは確かだと思ふ。

人間力を養う

人間関係の築き方がわからず、悩む若い世代が増えてきているという。SNSなどで気軽に顔も知らない仲間と友達になれるのはよいが、現実生活の中では、うまくコミュニケーションがとれない生徒も多くなっているようである。

私自身も中学校でICT教育に深く携わり、生徒の宿題や感想文なども、いまやネットワークを通して確認していくようになってきたし、これからはコンピュータのプログラミングなどの

ＩＴ関係の学習や機器の利用のあり方は必須のものになってくると考えている。だからこそ私は、そうしたものでは鍛えることのできる「人間力」を養っていく機会を数多く持ちたいと考えている。最近の生徒は、個に徹して力を発揮していく者も多いが、ともすれば「我が道を行く」方向に進みがちの者も出てくる。自分の世界に閉じこもり、全く周囲と交流しないという生徒はさすがに多くはないが、自分の世界ばかりではなく、他者の良さも認め合う、いわば多様性に寛容な学校環境を作り上げたいと考えている。

体験学習も最上級生になると、一泊はバンガローでの宿泊になる。そこには電気もなければ、テレビもない。携帯電話も通じない。昆虫なども多く、ランプの灯りの中で、日常の文明生活とはほど遠い一晩を強いられる。自分の力では意のままにならないそうした環境の中で、自分自身を見つめ直し、仲間たちと交流し合う時間を大切にしたい。生徒たちにはそうした不自由さを、むしろ楽しいものとして受け止めてもらいたいと考えている。

全校朝礼・生徒総会

6月3日(月)、四十周年記念館にて全校朝礼が行われた。この日は衣替え後、初の全校朝礼とあって、記念館の内部が、夏服の白色で染まった。

校長は講話の中で、「先日、休日を利用して三重県の伊勢市に行ってきました。目的はある野菜中心のビュッフェレストランに行きました。このお店の特徴は、就労継続支援A型事業所である点です。身体的、知的、精神的に障がいがある人が働ける場なのです。」



生徒総会の様子

オーナーの中村文昭さんは、離農問題と不登校や就労していない若者の問題を同時解決するため、『耕せ！につばん』というプロジェクトを立ち上げました。そのとき重度の障がいを持つ女性が若者たちの食事の世話をしていたのです。彼女の姿に若者たちは心打たれ、自然と手伝うようになります。若者たちも成長し、質の高い無農薬野菜が作れるようになりました。中村さんは地元の人

を元気にしたい、雇用の少ない障がいのある人たちに職場を提供したいと考えて、このお店を作ったのです。『お客様には障がい者だから大目に見てください』は通用しません。だからスタッフが一ひとりのやることをやり、力を合わせているのです」と、お店の方は語ってくれました。

今回の訪問で、誰もが一所懸命生き、人のためになりた

いのために、それを支える人がいる、皆が共に生きてこそ人は幸せなのだということを感

教育実習

5月27日(月)から教育実習が始まった。期間は2週間から4週間と様々だが、実習生の多くは本校の卒業生。久しぶりの母校での実習に、教師を目指しての緊張感あふれる表情が印象的であった。その中の二人の感想を掲載する。

自身に勉強になりました」中川深喜さん(宇都宮大学国際学部)「実習では、先生の時には気づけなかった先生方の工夫や苦労がわかりました。至らない点が多く、剣に耳を傾け、笑顔で声をかけてくれる生徒の皆さんの姿に、教師という仕事の素晴らしさを感じました。この経験と反省を糧にこれからも頑張ります」



母校での教育実習

もう一つの甲子園

6月11日(火)小山運動公園にて、夏の栃木大会の選手登録外れた3年生交流戦「もう一つの甲子園」が開かれた。引退する3年生への花道を作るともに、チームの結束を高める狙いがある。本校の相手チームは青藍泰斗高校。今年で4年目の大会だが、試合は1点を奪い合う拮抗した好ゲーム。4対4の同点から、荒川万裕選手(A3年)がライオン前に適時打をはなち、本校の逆転サヨナラ勝ち。劇的な幕切れとなった。

教務日誌抄〔高校〕

〔6月〕

1日(土) 夏服着用 美化の日

3年先輩招待説明会(B)

3日(月) 全校朝礼

生徒総会

4日(火) 1年内科検診

5日(水) 検尿(再)

6日(木) 3年小論文模試

3年歯科聴力検診

2・3年耳鼻科検診 (対象者)

8日(土)

3年進研マーク模試

11日(火)・12日(水)

3年内模範試験

12日(水) 2年芸術鑑賞

13日(木) 1年内科検診

14日(金) 漢字検定

父母会国大見学会

15日(土) GTEC

大学出張講義

19日(水)

第1回進路希望調査

24日(月)

佐々木周二先生生誕の日

27日(木) 職員研修

(午前授業公開、午後授業研究)

30日(日) 英語検定2次

○各コースは、次の記号で表示されます。

中高一貫コース	N
特別選抜Sコース	S
特別選抜コース	T
選抜コース	A
グローバルコース	G
文理コース	B



写真提供：国立劇場

芸術鑑賞

6月12日(水)、国立劇場において2年生の芸術鑑賞が実施された。今回、鑑賞したのは歌舞伎鑑賞教室の演目『神霊矢口渡』で、江戸時代を代表する天才・平賀源内の作品。上演されたのは、全段五段からなる作品の内の四段目『頓兵衛住家の場』で、名将新田義貞

三男の義峰の奮闘ぶりを舞台にしたもの。冷酷非道な渡し守頓兵衛の執拗な追撃を、頓兵衛の娘お舟の助けなどを借りながら、その場を逃れていくストーリー。

上演に先駆けて、新田義貞役で出演する中村虎之助さんの「歌舞伎のみかた」と銘打った解説が行われ、歌舞伎を初めて鑑賞する生徒も多い中、日本の伝統文化を代表する舞台芸術を、楽しくかつわかりやすく、軽快なパフォーマンスを交えながら、平賀源内役の中村いてうさんらを交え

6/15(土) 令和元年度 大学・短大出張講義

No.	大学	所属	氏名	題名	No.	大学	所属	氏名	題名
1	東京大	大学院農学生命科学研究科	潮 秀樹	食べ物が進化を進める	12	法政大	人間環境学部 人間環境学科	武貞 稔彦	持続可能な社会と人生について－何を考えればいいのか？
2	電気通信大	情報理工学域1期 メディア情報学 プログラム共通教育部	大河原 一憲	体重コントロールを「食べる・身体を動かすから科学する」	13	中央大	国際経営	DUMAYAS, Arianne Dela Rosa	変貌する経済地理
3	東北大	東北大学大学院工学研究科	燈明 泰成	機械や人の検査と評価～安全な社会を実現し、健康に暮らすためには機械検査が不可欠です～機械や人の検査と評価	14	明治大	情報コミュニケーション学部	大黒 岳彦	メディアは社会を変える (SNS)
4	筑波大	筑波大学生命環境科学研究科	田中 博	地球環境	15	北里大	医療衛生学部 医療検査学科 臨床検査学	長塩 亮	臨床検査技師の仕事と一般検査について
5	宇都宮大	宇都宮大学国際学部	出羽 尚	絵画を通じて多文化共生について考える	16	國學院大學	文学部	宮内 克浩	伝大伴旅人「梅花歌序」について
6	宇都宮大	宇都宮大学地域デザイン科学部	塚本 純	経済統計から見る「とちぎ」の姿	17	國學院大學	神道文化	松本 久史	カミに祀られた人びと
7	会津大	コンピュータ理工学部 ロボット工学講座	成瀬継太郎	ロボットののための情報システム	18	國學院大學	経済学部	橋元 秀一	経済とは何か、日本経済の歩みと現状・課題および國學院大學経済学部での学び
8	会津大	コンピュータ理工学部	平田 成	日本の月惑星探査	19	國學院大學	法学	佐藤 秀勝	未成年者と民法
9	東京薬科大	薬学部	三浦 剛	最新のインフルエンザ治療薬化学の力でインフルエンザを駆し討ちに！	20	國學院大學	人間開発	成田 信子	可能性をひらく「人間開発」の理念
10	独協医科大	医学部	川合 覚 野中 里佐	現代の寄生虫病事情と私たちをとりまく微生物	21	國學院栃木短大	日本文化系	篠塚富士男	異本の発生について
11	帝京大	理工学部バイオサイエンス学科	篠村 知子	微細藻類のバイオサイエンスとバイオエネルギー	22	國學院栃木短大	人間教育	都留 覚	Society5.0と学習指導要領

進路探究の試み

本校では、大学でのそれぞれの学問分野についての理解度を高めることや、進路選択のミスマッチを防ぎたいとの願いから、大学や短大からの出張講義や大学見学会の機会を数多く用意しており、高校生の興味に合わせた本校独自の講座も準備している。受験生はもちろんのこと1・2年生も、各大学のオープンキャンパス等も含めて、そうした機会を積極的に利用してほしい。

先輩招待説明会

6月1日(土)Bコース3年生対象に先輩招待説明会が開かれた。

それぞれの卒業生は、在学当時の受験勉強や、現在通う大学の学部や特徴などを説明。在校生一同に先輩の立場から熱いエールを送っていた。なお、説明会に参加した卒業生は次の通り。

笹川晴輝(國學院大學)
河本稜太(明治大学)
宮川愛李(日本体育大学)
大豆生田彩香(東京薬科大学)

國學院大學 施設見学会

6月14日(金)、父母会主催の國學院大學施設見学会が実施された。大学側からの説明や施設見学、他、本校卒業生との懇談も行われた。

大学・短大出張講義

6月15日(土)13時30分から、2・3年生を対象に出張講義が実施された。各大学・短大からの理系・文系様々な講義が行われ、参加した生徒たちは熱心に耳を傾けていた。生徒の一人は、『メディア』の変化について興味深く学ぶことができた。大学についても深く知りたいので、ぜひオープンキャンパスに参加したいと思いました」と語った。

くれた。なお、講座や担当者などの詳細については上の表の通り。

世界脳週間2019

6月16日(日)群馬大学医学部において、脳科学研究の重要性を知ってもらうことを目的として、「世界脳週間2019」が開催された。会では講座や体験学習が実施され、本校からも11名の生徒が参加した。

研究授業

教育を取り巻く環境は変化しており、大学入試制度も2020年度に大幅に改変される。そうした事態に対応するために、本校では各教員の授業力向上を目的とした研究授業が毎年実施されている。

本年度は16名の教員が研究授業を行う。授業には教科の垣根を越えて、様々な教科の教員が参加する。授業後には教科横断的な視点を踏まえた意見交換会が開かれる。

なお、研究授業を行う教員の予定は次の表の通り。

令和元年度 研究授業

時期	教科	授業者	日時	クラス
1学期	数 学	伊藤 淳一	6/13(木) 4限 数学演習	B3-6
	英 語	木村 豪	6/14(金) 5限 C英I	S1-2
	理 科	三好 一郎	6/18(火) 5限 生物基礎	N1-1
	地・公	筒井 健介	6/18(火) 6限 日本史B	T2-2
	芸 術	戸張 真衣	6/19(水) 1限 音楽	T1-1
	国 語	堀越 太輔	6/20(木) 2限 国語総合	S1-2
	国 語	中島 亨	6/27(木) 13:00～ 現代文	B3-2
2学期	理 科	遠藤小百合	9/30(月) 2限 生物基礎	S1-1
	情 報	岩島 修平	9/30(月) 4限 情報	A2-3
	地・公	柳田真之介	10/4(金) 2限 現代社会	B2-2
	国 語	飯泉 幸子	11/8(金) 5限 国語総合	B1-1
	数 学	木村 圭佑	11/12(火) 6限 数学	S1-2
	英 語	塩谷 隼冬	11/13(水) 3限 C英語II	A2-1
3学期	保・体	宮田 夏湖	1/14(火) 4限 体育	B1-3 B1-4
	地・公	宮崎 笙子	1/31(金) 2限 日本史A	B1-5
	英 語	丸山 貴行	1/31(金) 5限 C英語I	T1-3

校内競技大会



B 2 年 1 組 男女ともに優勝 B 1 年 2 組

5月29日(水)、30日(木)の2日間にわたって校内競技大会が実施された。ホームルームごとに作成したTシャツを身につけ、競技中はクラスが一丸となって試合に臨んだ。今大会では1年生と2年生がアベック優勝。今回優勝したチームのキャプテンの感想を掲載する。

2年
男子 **優勝** B 1 A
女子 **優勝** B 2 A
2位 B 4 A
3位 B 3・B 5

キャプテン 平野恵里香さん
今回の競技大会を通して、改めてB1組のチーム力の強さを感じることができました。仲間との声の掛け合いを大事にし、全員で優勝という目標に向かって頑張ることができました。優勝できたのは、自分たちの力だけではなく、盛り上がる応援もあったからだと思います。本当に楽しい2日間でした。

キャプテン 福田 悠君
お互いに声を掛け合い、良いバレーボールはとも、良い思い出になりました。失点を少なくするという目標をチームで掲げて、優勝出来て本当に良かったです。決勝戦ではクラス全員の応援を背に戦うことができ、クラスの絆の深さを改めて感じることが出来ました。皆さんの応援、ありがとうございました。



女子ハンドボール決勝戦



男子バレーボール決勝戦

2年
男子 **優勝** B 1 A
女子 **優勝** B 2 A
2位 B 4 A
3位 B 3・B 5

女子バスケットボール決勝戦
全員の力でゴールを守り、負けていても誰一人諦めることなく得点を取りにきました。チーム編成や作戦を組むのに時間をかけて、クラス皆で掴み取った優勝です。



男子ソフトボール 担任を胴上げ

キャプテン 飯田奈桜さん
丸山先生に優勝の賞状を贈りたくて日々練習をしてきました。決勝では1セット目を落としましたが、結果的に全員のやる気と集中力で優勝できました。競技大会のおかげでクラスの仲も深められて良かったです。

1年
男子 **優勝** B 2 A
女子 **優勝** B 2 A
2位 B 3 B
3位 B 5 A・A 2 B
B 6 A・A 1 A

キャプテン 大塚月楠さん
目標としていた優勝ができて良かったです。途中苦戦するときもありましたが、チームの気持ちが一つになつていたので戦い切ることができたと思います。2日目は男子も応援に来てくれて絆がより深まったと思います。男女共に優勝できて良かったです。



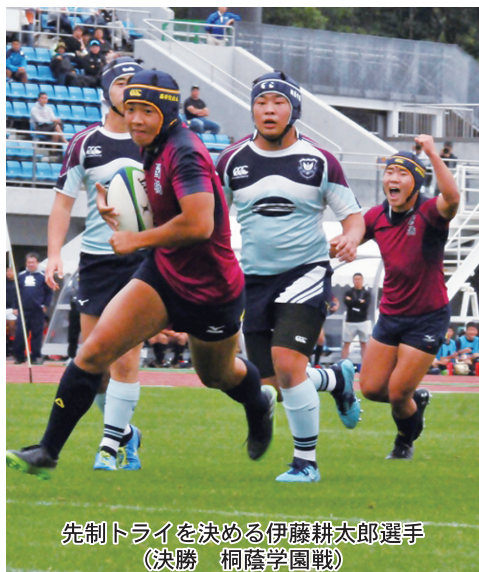
男子サッカー決勝戦

3年
男子 **優勝** B 2 A
女子 **優勝** B 6
2位 B 2 B
3位 B 4 A 1・B 5 A

キャプテン 飯野 大和君
決勝でしか味わうことのできないあの舞台は最高でした。この優勝はクラス全員で勝ち取ったものです。沢山の人の応援に感謝しています。クラスの目標であり、感謝の気持ちでいっぱいです。クラスの目標である三冠まであと二つ。全員で思いを一つにし、三冠への道を歩みたいと思います。



女子バレーボール優勝チーム



先制トライを決める伊藤耕太郎選手
(決勝 桐蔭学園戦)

関東大会結果

～ご声援ありがとうございました～

ラグビー

強豪校を倒し関東準優勝

第67回関東高等学校ラグビーフットボール大会、6月7日(金)～9日(日)、相模原ギオンスタジアム他。

▽結果(Aブロック)

本校	38	19	0	早稲田
	19	0	0	実業
本校	21	21	17	桐蔭
	0	40	47	学園

関東最強豪校が対戦するAブロックに出場。初戦は早稲田実業高校(東京都)と対戦した。展開力のあるBKがボールを回してゴール前まで攻め込み、最後は重量級FWで押し込んでトライを奪った。後半20分には中盤でSH北村瞬太郎主将(B3年)から流れるように

男子ハンドボール

関東ベスト8

第65回関東高等学校ハンドボール選手権大会、6月1日(土)～3日(月)、多摩市総合体育館。



ラグビー高校日本代表候補第1次メンバーに選出

日本ラグビーフットボール協会は、第1次メンバーを発表し、本校ラグビー部からは、125kgの体格で、強力なスクラムが武器の藤倉大介選手(B3年)、7人制の全日本候補補合宿にも参加している伊藤耕太郎選手(B3年)が選出された。両選手とも、最終選考に残れるよう、全力を尽くすと熱い思いを語った。



フォワード(PR)藤倉選手



バックス(SO)伊藤選手

女子個人戦ベスト8

柔道

1回戦は東邦大学付属東邦高校千葉県に21対18で競り勝ち、2回戦は安田学園高校(東京都)と対戦。シーソーゲームが続いたが、前原貴選手(B3年)、立川竜也選手(B3年)の速攻が決まり、23対16で勝利した。続く準々決勝は浦和学院高校(埼玉県)に12対39で敗れ、ベスト8となった。

第67回関東高等学校柔道大会、6月1日(土)、2日(日)、ALSOKぐんまアリーナ。

女子個人戦ベスト8

バレーボール

男子団体戦

1回戦、高崎商業高校(群馬県)に勝利するも、2回戦は横浜高校(神奈川県)に1対1で代表戦となり惜しくも敗退。

バレーボール

第73回関東高等学校バレーボール大会、6月1日(土)、東金アリーナ他。

2回戦で日体大荏原高校(東京都)と対戦し、セットカウント1対2で敗退。

なぎなた

第27回関東高等学校なぎなた選手権大会、6月1日(土)、2日(日)茨城県武蔵館。

団体戦予選Bブロックは、大宮開成高校(埼玉県)に勝利するも、代表戦で水戸第三高校(茨城県)に敗れ、予選敗退。個人戦では、齋藤友里菜選手(A2年)が決勝トーナメントに進出したが敗退した。



大内刈りで一本を決める
富張選手(個人戦1回戦)

那須・甲子

忘れません。

6日(木)・7日(金)

第1回実力テスト



を熱く演じる

緊急事態を想定したものであったが、生徒たちは落ちていた外に避難することができた。生徒たちの身の安全が確保されると、教員による不審者取り押さえ訓練が行われ、大捕物の末に「不審者」の身柄を押さえることに成功した。

訓練終了後、スクールサポーターの解説のもと、DVDを見ながらの講習が行われた。生徒たちは講習を受けることで、身の周りに思わぬ危険が潜んでいることを再認識し、防犯に対する意識を高めることができた。

7日(金) 第1回墓文参説明会
8日(土) 1日体験学習会

14日(金)第2回塾対象説明会

15日(土)スポーツ

フエスティバル

24日(月)佐々木周二先生

生誕の日

27日(木)芸術鑑賞

30日(日)英語検定2次

7日(金) 第1回墓文参説明会
8日(土) 1日体験学習会

14日(金)第2回塾対象説明会

15日(土)スポーツ

フエスティバル

24日(月)佐々木周二先生

生誕の日

27日(木)芸術鑑賞

30日(日)英語検定2次